

道徳のしくみ

| | | | |
|--------------|-------------------|----------------------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 人間科学科哲学分野 林 研 准教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 人間科学科哲学分野 | | |
| 担 当 教 員 | 林 研 准教授 | | |
| 対象学年 | 1 | 区分・時間数 (1コマ2時間換算) | 講義 28 時間 |
| 期 間 | 前期 | | |

・学修方針（講義概要等）

古代ギリシアの哲学者ソクラテスは自らの死を目前に控え、「大切にしなければならないのは、ただ生きるということではなく、よく生きるということなのだ」と友人たち語った。しかし、「よく生きる」ために私たちはどうすればよいのか。

本講義では、功利主義・カント倫理学・社会契約説・徳の倫理・正義論などの様々な倫理的立場をとり上げ、これらの理論が具体的な問題に対してどのような指針を与えることができるかを検討していく。また、そうした検討を通じて、私たちにとって「よく生きる」こととは何かを考えてもらう。

なお、功利主義・カント倫理学・正義論はビーチャムとチルドレスという二人の倫理学者が提唱した生命倫理学の四つの基本原則（自律尊重・善行・無危害・正義）の基盤となっており、またビーチャムとチルドレスは近年、生命倫理における徳倫理の重要性を強調するようになっている。そのため、講義のまとめでは、諸倫理学説と生命倫理学、臨床倫理学との関係もとりあげる。

・教育成果（アウトカム）

複数の倫理的観点からものごとを眺め、行為の是非を多角的に分析する方法を学ぶことで、理論に基づいた自分なりの倫理観を形成することができるようになる。また、倫理理論と現実の問題を結びつけて考えることで、自分が直面する倫理的葛藤状況に対して、根拠のある行動方針を選択できるようになる。

（ディプロマポリシー：1、3、4、7、9）

・到達目標（SBO）

1. 「善」「悪」「尊厳」「正義」などの基本的な倫理概念に関して、文化相対主義、倫理的主体主義、宗教、倫理的利己主義、功利主義、カント倫理学、徳の倫理学、正義論の主張を説明することができる。
2. 倫理諸理論についての理解を踏まえ、単なる思い込みや感情によるのではなく、問題が置かれた状況や相手の立場に則して、理論的に自分の倫理的志向を整理し、自覚的な行動指針を立てることができる。
3. 倫理理論と生命倫理の四原則がどのような関係にあるかを説明できる。

・ 講義日程

【講義】

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容/到達目標 |
|------|----|----|--------|---------|--|
| 4/17 | 金 | 3 | 哲学分野 | 林 研 准教授 | <p>道徳とは何か 1.道徳とはどのようなものかを説明できる。 [PR-01、C-1-1-2]</p> <p>事前学修：教科書第1章を読み、疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p> |
| 4/23 | 木 | 1 | 哲学分野 | 林 研 准教授 | <p>文化相対主義 1.文化相対主義とは何かを説明できる。 2.文化相対主義の問題点を指摘できる。 [PR-02]</p> <p>事前学修：教科書第2章を読み、疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p> |
| 4/30 | 木 | 3 | 哲学分野 | 林 研 准教授 | <p>主観主義 1.倫理的な主観主義とは何かを説明できる。 2.倫理的な主観主義の問題点を指摘できる。</p> <p>事前学修：教科書第3章を読み、疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p> |
| 5/7 | 木 | 1 | 哲学分野 | 林 研 准教授 | <p>宗教 1.宗教と倫理との関係を説明できる。</p> <p>事前学修：教科書第4章を読み、疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p> |

| | | | | | |
|------|---|---|------|---------|--|
| 5/14 | 木 | 1 | 哲学分野 | 林 研 准教授 | <p>倫理的利己主義</p> <p>1.倫理的利己主義とは何かを説明できる。</p> <p>2.倫理的利己主義の問題点を指摘できる。</p> <p>事前学修：教科書第5章を読み、疑問点を箇条書きにする。</p> <p>事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p> |
| 5/21 | 木 | 1 | 哲学分野 | 林 研 准教授 | <p>社会契約説</p> <p>1.ホッブズらの古典的社会契約説を説明することができる。</p> <p>2.社会契約説の考えを具体的な問題解決に関係づけることができる。</p> <p>事前学修：教科書第6章を読み、疑問点を箇条書きにする。</p> <p>事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p> |
| 5/28 | 木 | 1 | 哲学分野 | 林 研 准教授 | <p>功利主義（1）</p> <p>1.功利主義とは何かを説明できる。</p> <p>2.功利主義の考えを具体的な問題解決に関係づけることができる。</p> <p>事前学修：教科書第7章を読み、疑問点を箇条書きにする。</p> <p>事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p> |
| 6/4 | 木 | 1 | 哲学分野 | 林 研 准教授 | <p>功利主義（2）</p> <p>1.功利主義の長所と短所を指摘することができる。</p> <p>事前学修：教科書第8章を読み、疑問点を箇条書きにする。</p> <p>事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p> |
| 6/11 | 木 | 1 | 哲学分野 | 林 研 准教授 | <p>カント倫理学（1）</p> <p>1.カント倫理学とは何かを説明することができる。</p> <p>事前学修：教科書第9章を読み、疑問点を箇条書きにする。</p> <p>事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p> |

| | | | | | |
|------|---|---|------|---------|---|
| 6/18 | 木 | 1 | 哲学分野 | 林 研 准教授 | <p>カント倫理学（2）</p> <p>1.カントの人格性の原理を説明することができる。</p> <p>2.功利主義とカント倫理学との違いを説明することができる。</p> <p>事前学修：教科書第 10 章を読み、疑問点を箇条書きにする。</p> <p>事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p> |
| 6/25 | 木 | 1 | 哲学分野 | 林 研 准教授 | <p>フェミニズムとケアの倫理</p> <p>1.倫理観の男女差およびケアの倫理について説明することができる。</p> <p>事前学修：教科書第 11 章を読み、疑問点を箇条書きにする。</p> <p>事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p> |
| 7/2 | 木 | 1 | 哲学分野 | 林 研 准教授 | <p>徳倫理</p> <p>1.徳倫理とは何かを説明することができる。</p> <p>2.徳の倫理の考えを、具体的な問題解決に関係づけることができる。</p> <p>事前学修：教科書第 12 章 1、2 節を読み、疑問点を箇条書きにする。</p> <p>事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p> |
| 7/9 | 木 | 1 | 哲学分野 | 林 研 准教授 | <p>正義論</p> <p>1.ロールズ『正義論』における、公正・正義とは何かを説明することができる。</p> <p>[PR-02]</p> <p>事前学修：事前配布資料を読み、疑問点を箇条書きにする。</p> <p>事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p> |
| 7/16 | 木 | 1 | 哲学分野 | 林 研 准教授 | <p>目指すべき道徳説</p> <p>1.どのような理論が道徳的な理論として適切なのかを説明することができる。</p> <p>2.道徳理論と生命倫理の 4 原則との関係を説明することができる。 [C-1-1-1、C-1-1-2]</p> <p>事前学修：教科書第 13 章を読み、疑問点を箇条書きにする。</p> <p>事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p> |

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|---------------------------------|--------------|------|------|
| 教 | 現実をみつめる道徳哲学：安楽死・中絶・フェミニズム・ケア 新版 | ジェームズ・レイチェルズ | 晃洋書房 | 2017 |

・成績評価方法

【総括的評価】平常点 20%（受講態度/課題提出など）＋全講義終了後レポート 80%
 【形成的評価】講義毎の提出物等で理解度を確認し、フィードバックする。

| 到達目標 | DP | 中間試験 | レポート | 小テスト | 定期試験 | 発表 | その他 | 合計 |
|------|-------------|------|------|------|------|----|-----|-----|
| 1、3 | 1、3、 4、9 | | 80 | | | | | 80 |
| 2 | 3、7 | | | | | | 20 | 20 |
| 合計 | | | 80 | | | | 20 | 100 |

・特記事項・その他

本講義では、講義内容の理解を深めるため、毎回受講生に課題を出し、関連するテーマについて各自の考えをまとめてもらう。また講義についての疑問点等がある場合は、合わせて記載し、提出してもらう。課題の内容や疑問点の内容については、次回の講義の中で適宜とりあげ、解説を行う。レポートの結果については、講評および全体的に理解度の低かったポイントに関する解説文を WebClass に掲載し、特に内容が不十分であったレポートについては個別に指導を行う。

なお、教科書または配布資料を用いて、事前事後学修を行うこと。事前事後学修は毎回同じ作業であり、各回 60 分程度の時間を要する。最終レポートの作成には 180 分以上を要する。

形成的評価として、上記のように講義毎の提出物等で理解度を確認し、フィードバックする。

当該科目に関連する実務経験の有無 無

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|-------------------------------|----|-------------|
| 講義 | ノートパソコン（ThinkPad E14Gen5） | 1 | 講義プレゼンテーション |
| 講義 | デスクトップパソコン（Mac mini MMFJ3J/A） | 1 | 講義資料作成、他 |